

製品名: CD63 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21314**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:26kD;Observed MW:30-65kD

抗原情報

遺伝子名	CD63
別名	CD63;MLA1;TSPAN30;CD63 antigen;Granulophysin;Lysosomal-associated membrane protein 3;LAMP-3;Melanoma-associated antigen ME491;OMA81H;Ocular melanoma-associated antigen;Tetraspanin-30;Tspan-30;CD63
遺伝子 ID	967
SwissProt ID	P08962
免疫原	ヒト CD63 の合成ペプチド

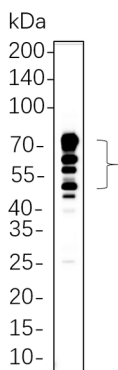
背景

細胞局在: 膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 4 スーパーファミリー (テトラスパニンファミリーとも呼ばれる) のメンバーです。これらのメンバーのほとんどは、4つの疎水性ドメインの存在を特徴とする細胞表面タンパク質です。これらのタンパク質は、細胞の発生、活性化、増殖、および運動性の調節に関与するシグナル伝達を媒介します。コードされるタンパク質は細胞表面糖タンパク質であり、インテグリンと複合体を形成することが知られています。血小板活性化マーカーとして機能する可能性があります。このタンパク質の欠損は、ヘルマンスキー・パドラック症候群と関連しています。また、この遺伝子は腫瘍の進行とも関連しています。選択的スプライシングにより、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012年4月]

研究分野

-

画像データ



NIH-3T3 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを CD63 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。